

障害者支援施設津久井「やまゆり園」 殺傷事件を考える集い

日 時: 11 月 5 日(土) 13 時～16 時 参加費 300 円

場 所: 神奈川県地域労働文化会館 地下鉄阪東橋駅 徒歩 4 分

プログラム

12 時 30 分 受 付・開始

13 時 00 分 開 演・主催者挨拶

13 時 15 分 この事件をどのように見るのか

講師 岩村 智文 氏 弁護士 川崎合同法律事務所

13 時 45 分 シンポジウム

進 行 大 友 勝 横浜市精連代表

テーマ 事件の時代状況と匿名報道

演 者 香川 直幹 氏 神奈川新聞 報道部デスク

テーマ 措置入院と措置制度の在り方をめぐって

演 者 精神科医師 (調整中)

テーマ 当事者はどのように感じたのか

演 者 堀合研二郎 氏 シャロームの家・ピアスタッフ

テーマ 福祉職場の労務管理の視点から

演 者 岩坂 正人 氏 福祉団体役員・市精連常任理事

助言者 岩村 智文 氏 弁護士 川崎合同法律事務所

15 時 25 分 休憩及び討論

16 時 30 分 終 演

注 シンポジスト、演題は変更する場合がありますので、ご承知下さい。

主 催 NPO 法人 横浜市精神障害者地域生活支援連合会

連絡先 横浜市精連 045-263-8100 FAX 045-263-8101

申し込み先 FAX 番号 045-263-8101

お名前	所 属	電 話 番 号

開催趣旨

「障害者差別解消法」が施行された4か月後の、7月26日未明、障害者支援施設津久井「やまゆり園」で殺傷事件が起きました。この事件は障害者19名の死亡、24名の負傷者という、あまりに痛ましい事件だ。

不幸にして亡くなられた人及びその家族に、心からの哀悼の意をささげるとともに、負傷された24名の日も早い回復を心からお祈りします。

私たちは、植松容疑者の犯行の動機である「障害者はいなくなればよい」という思想及びこの犯行を決して許すことはできない。7月28日安部首相は厚労省を中心に再発防止策の検討を指示し、9月14日、厚労省の再発防止検討チームの中間報告が公表されました。この中間報告では、この容疑者は「精神障害」だったのか、措置入院は本当に正しかったのか、明確な根拠は示されないまま、「保健所の自治体が措置権のある都道府県・政令市から支援プロセスを確実に引き継ぎ、支援を調整する仕組み」を制度的に担保する方向を打ち出しました。

植松容疑者は現在、鑑定留置されており、事件の真相解明には、今しばらく時間がかかりそうです。しかし、報道で知る限りこの事件は優生思想に基づく確信犯的な犯行の疑いが強く、相模原市が措置入院させたことが適切だったのかという疑問が残る。

一方において、この犯行は、グローバリズムによる格差社会が急激に進行する中であって、生きづらい時代の深層を映し出すような事件ではないか、と思えてならない。

今回の「集い」は、一市民として、また、障害者支援に係るものとして、このような事件の再発防止のために何ができるのか、シンポジストの問題提起をもとに、みんなで考えたいと思っています。

この容疑者は本当に措置入院の対象だったのか、予防拘禁的に措置制度が利用されたということはなかったのか、社会の役に立つ、立たないとの議論と優生思想的思考と行動は、実は身近な問題としてあるのではないか、今回の事件と匿名報道をどのように考えたらいいのか、障害者支援施設における防犯対策や人材育成、労務管理の在り方、神奈川県は当事者の意見を聞くことなく「やまゆり園」を改築する方向の是非など、多くの視点から議論を深めたいと考えています。多くの皆さんの参加を、心から呼びかける次第です。

平成28年10月3日

横浜市精連代表 大友 勝